

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	財務部財政課		■担当係	資産計画係
■評価事業名称	アセットマネジメント推進事業			
■評価事業コード	020100 - 400	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築		
	■施策	02 財政健全化の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律ほか			
■関連計画の名称	北上市総合計画、都市計画マスタープランほか			
■事業の概要	北上市が保有する公共資産を行政経営にとって最適な状態で保有するため、ファシリティマネジメントの手法を導入・推進し、公共資産の管理(手法)を次のように転換していく足がかりを作る。1. 対症療法的⇒予防保全的 2. 単年度で最小のコスト⇒長期的に最小のコスト 3. 長寿命化の考慮せず⇒長寿命化を実施 4. 突出する財源投入⇒平準化した財源投入 5. 分散(各部署)管理⇒一元(単一部署)管理			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	アセットマネジメント推進事業	市有施設	○施設カルテの作成	○施設カルテ(電算システム)の開発の完了 ○建築物維持保全事業に係る各課ヒアリングと事業選定・予算計上 ○劣化情報を除く施設カルテデータを2箇年分蓄積

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	1,008	8	39	5,038	
人件費	3,488	3,540	3,435	5,277	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,496	3,548	3,474	10,315	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	基礎調査実施	完了			基礎調査実施	基本計画策定に必要な基礎調査の実施
02	基本計画策定		着手		基本計画策定	実施計画の基となる基本計画(方針)の策定
03	最適化実施計画策定				最適化実施計画策定	施設の最適化に係る実施計画の策定

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

04	長寿命化実施計画策定			長寿命化実施計画策定	施設の長寿命化に係る実施計画の策定
----	------------	--	--	------------	-------------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

基本計画策定時は平成26年度以降に最適化計画及び長寿命化計画(以下「実施計画」)の策定の着手を予定していたが、その後、実施計画の策定前に建築物の劣化診断の必要性が認識されたことから、一部着手に留まっている。劣化診断については財政計画との調整の関係から、平成29年度以降(国体終了後)を予定している。現在は、施設カルテのデータ整備と、平成26年に国から要請のあった、「公共施設等総合管理計画」の策定を進めている。

問題点・課題等

早期の実施計画の策定には劣化診断が必須であるが、診断の費用が高額であること、現在の制度上、国庫補助等の特定財源の歳入が見込めない(全て一般財源での措置となる)ことが課題となっている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明